

令和6年度 大麻まちづくりセンターの主な取組

事業名

折居駅 100 周年記念イベント(大麻地区まちづくり推進委員会との連携)

P

●事業実施に至った背景、目的

地域内外からの集客を図り、地域の活性化を目的の一つとし、将来的に大麻地域へのＩターンＵターンに繋げ、人口減少の歯止めにする。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・センターと大麻地区まちづくり推進委員会の連携による合同委員会 16 名。
- ・令和6年1月26日を第一回目として6回開催、第5回及び第6回はFUN 田中さんも参加。
- ・JR 西日本との面談による打合せ2回他電話による打合せ多数。
- ・道の駅ゆうひパーク三隅とは訪問提案その後訪問打合せ。

D

●事業の概要

○第一ステージ「折居駅 100 周年記念式典」

地域の人と JR 西日本関係者により、折居駅の 100 周年を祝うことを目的。

○第二ステージ「折居駅 100 周年記念イベント」・・・課題解決事業交付金の活用

- ・地域外の多くの方を集客し、折居駅とともに大麻地区の良さを知って頂く事を目的。
- ・「大麻地区婦人会」「FUN」「道の駅ゆうひパーク三隅」飲食販売、ヨシタケコーヒー販売、ピザ窯によるピザ焼き体験、ホクレアファイブ、COMBO103 ミニコンサート、納涼のタベ(灯籠の点灯・花火)、来場者に記念品配布、折居駅と地域の歩みをイメージした映像の放映。

C

●事業実施後の振り返り

- ・来場者数は、目標 100 人に対して 200 人以上(JR 利用者数約 40 人)
- ・来場者の方にイベントを楽しんで頂き、当地区の良さを知って頂くことが出来た。
- ・スタッフ及び関係機関ともに盛況で良かったと評価頂いた。
- ・イベントの目標は概ね達成できたが、本来の事業目的の達成は、今後の取組による。

A

●令和7年度以降の方向性

納涼のタベ(灯籠の点灯・花火等)は、来年度以降も規模を縮小して継続開催する。今回のイベントで関係機関との信頼関係が構築できたので、今後、お互い連携し地域内外からの集客を図り、地域の活性化を目的とし、大麻地域への移住者に繋げる。その為にも、当地区への移住者の受け入れ態勢を整えて行く。

